

自然、まち、歴史・文化の調和した愛着と誇りのもてる景観をめざして

第4回太田市景観賞

表彰式・景観講演会

日時：平成27年1月23日（金）午後2時00分～
会場：太田市福祉会館 大研修室

本市は、平成19年9月1日に景観法に基づく景観行政団体となり、太田市景観計画や太田市景観条例、太田市屋外広告物条例を定め、市の良好な景観づくりを推進しています。

そこで、景観の保全・形成に対する市民意識の向上を図るため、市の景観づくりに大きく貢献した市民、事業者及び団体等を「太田市景観賞」として表彰しています。

第4回目の本年度は、全部で7件の応募をいただきました。応募された皆様に敬意を表し、感謝申し上げます。

美しい街並み形成や地域の各種景観活動は、まちづくりの目標です。建物と周囲の自然が織りなす景観、地域活動による美しい街並みの維持は大切な資産であり、地域コミュニティの一体化、活性化に寄与するものです。表彰される3件はどれもその配慮が感じられ、それぞれの地域の景観形成に貢献してくれるものと期待しています。

太田市景観賞の実施にあたりご協力くださいました多くの市民の皆様にご感謝申し上げます。御礼のあいさつといたします。



太田市長 清水聖義

【審査】太田市景観審議会表彰等評価部会

景観賞：中村 充

「不動の舎（ふどうのいえ）」



（高林南町）

景観賞：花クラブやぶづか

「三島神社公園駐車場周辺緑化」



（藪塚町）

奨励賞：社会福祉法人 同仁会

「ぐるっぺ絆」



（新田市野井町）

【講評】太田市景観審議会表彰等評価部会 部会長 渡邊 美樹

今年で4回目を迎えた太田市景観賞には、景観づくり活動、建築物など合計7件の応募をいただき、審議会では、これらの案件について現地審査を行いました。いずれも、地域の良好な景観形成に貢献する取り組みでありました。色彩や造形への工夫、周囲の景観との調和、そして良好な景観が長期にわたり保全されており、今後も維持されること、あるいは地域に景観保全活動を促し広く発信していることなどを評価の基準として、現地審査により確認したところ、どの案件も活動されている方々の地道なご苦労と熱意が伝わってくるものでした。景観審議会委員 13名の採点結果を集計し、審議の結果、3件の表彰を決定いたしました。

「不動の舎」は、穏やかな色彩の住宅が緑豊かな周囲と調和していることや、開放的な庭の造作が評価され、「花クラブやぶづか」は、花壇と周囲の風景との調和や、長期にわたり大勢の人が地域の景観保全に尽力されてきたことが評価されました。また、奨励賞の「ぐるっぺ絆」は、既存の施設を改装する中で、駐車場の一部を庭園に変え樹木を植えることで、良好な景観を生み出したことが評価されました。今後も太田市の景観保全への取り組みとして、手引きとなる役割を担われる事を心より願っております。また、今後とも、景観との調和を図る建築や古い建物の外観の維持、景色や景観保全の活動など、数多くの取り組みを期待しております。

第4回太田市景観賞 表彰式・景観講演会

■ 14時00分 表彰式

挨拶：主催者挨拶 太田市長 清水 聖義

来賓挨拶 太田市議会議長 川鍋 栄

表彰：景観賞 「中村 充」

景観賞 「花クラブやぶづか」

奨励賞 「社会福祉法人 同仁会」

講評：太田市景観審議会表彰等評価部会 部会長 渡邊 美樹

■ 14時30分 講演会

演題：「歴史を活かす景観まちづくり—遺跡の保存整備の意味を考える—」

講師：東北芸術工科大学 教養教育センター兼デザイン工学部

教授 小林 敬一 氏

講師紹介

【略歴】

1958年山口県生まれ。東京大学工学部都市工学科卒業、同大学院工学系研究科修士課程修了。東京大学助手、東北芸術工科大学助教授を経て、2005年より現職。工学博士。専門は都市計画・都市デザイン。

【主な活動】

宮城県文化財保護審議会部会委員
東松島市 特別名勝松島保存管理専門委員会委員
山形県総合政策審議会委員
福島県景観アドバイザー

【主な著書】

『詩に詠まれた景観と保全—福島高子二十境の場合』（西田書店）
『景観再考—景観からのゆたかな環境づくり宣言』（共著、鹿島出版会）
『景観法と景観まちづくり』（共著、学芸出版社）など。



主催：太田市
後援：群馬県都市計画協会